土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　Ｒ２江戸川管内地質調査業務

事業名または工事名

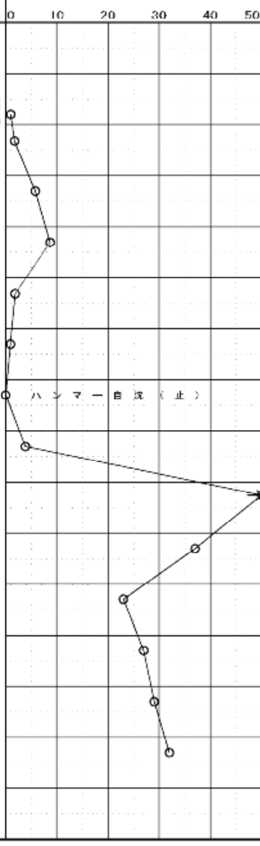
調査目的及び調査対象

ボーリング名	R2篠崎B-4	調査位置	東京都江戸川区上篠崎1丁目地先	北緯	35°42′55.12″
発注機関	国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所	調査期間	2020年 8月28日～2020年 9月 2日	東経	139°54′07.06″
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	[redacted] 現場代理人 [redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	Y.P.+2.33m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北0° 90°東 180°南 270°西
総削孔長	14.45m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 カノー KR-100H / エンジン ヤンマー TF120V / ポンプ 東邦 BG-4

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
-1.93	0.40	盛土 ローム混じり砕石	暗黄褐灰			盛土	0.00~1.50m試掘。角礫(φ2~80mm)。
-1.23	1.10		暗灰				
-0.33	2.00	盛土 粘土 / 粘土	黄褐灰		rc1		黄褐色の粘土不規則に挟む。粘着性やや強い弱い部分あり。下部に砂少量不規則に混入。粘着性強い。
-0.37	2.70	細砂	暗灰	rd1		沖積層	黄褐色の糸状の腐植物少量混入。砂の粒子細かい。粒径均一。
-1.37	3.70	細砂	暗灰	rd2			シルト質細砂及び中砂薄く挟む所あり。粘土若干混入。砂の粒子細かい。粒径不均一。
-2.47	4.80	細砂	暗灰	rd2			含水量やや高い。砂の粒子細かい。粒径不均一。
-4.37	6.70	粘土質シルト	暗灰		rc1		腐植物点在。粘着性乏しい。
-5.97	8.30	シルト質粘土	暗灰		rc1		貝殻多量混入。粘着性乏しい。
-6.27	8.60	固結シルト	暗灰				粘着性乏しい。
-7.57	9.90	細砂	暗灰	rd5		洪積層	含水量低い。砂の粒子細かい。粒径均一。
-8.12	10.45	細砂	暗黄褐灰	rd4			所々暗灰色の細砂不規則に挟む。砂の粒子細かい。粒径均一。粘着性乏しい。
-12.12	14.45	細砂	黄褐灰	rd3～rd4			砂の粒子細かい。粒径均一。

孔内水位／測定月日：▽ 8/28 1.10 無水掘り水位

標準貫入試験



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	削孔月日
1	1.65～1.95	0/150	1/150	—	1/300			
1.8	2.15～2.49	1/180	1/150	—	2/340			
5.8	3.15～3.46	1	2/110	3	6/310			
8.7	4.15～4.46	1/90	4/120	4	9/310			
1.9	5.15～5.47	1/200	1/120	—	2/320			
1.0	6.15～6.46	1/310	—	—	1/310			
0.0	7.00～7.60	0/600	—	—	0/600		600	
3.9	8.15～8.46	0/180	1/30	3	4/310			
71	9.15～9.36	17	27	6/10	50/210	210		
37	10.15～10.45	13	12	12	37/300			
23	11.15～11.45	6	8	9	23/300			
27	12.15～12.45	7	9	11	27/300			08/28
29	13.15～13.45	6	10	13	29/300			
32	14.15～14.45	9	11	12	32/300			08/31

試料採取・室内試験

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験・原位置試験
1.10～1.95	1	T	ρs, [illegible]
	P1		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性
	P2		ρs, 含水, [illegible]
2.50	2	A	ρs, 含水, [illegible], ρt, 三CD, 中空
3.50～4.00	現場透水試験		4.00
	P3		ρs, 含水, [illegible]
	P4		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性
6.00	3	T	ρs, [illegible]
	P5		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性
	P6		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性